

報告書

食品原料のロス削減を目的とした 食品企業と食品工場のマッチングによる 食品アップサイクルについて



ICS-net株式会社



目次

■事業目的

- * 事業内容と目的
- * 実施体制
- * 役割分担表と事業の切り分け
- * 本事業の実施スケジュール
- * 実施結果

■取組の経緯

- * マッチングシステムの経緯①～利用者のヒアリング調査
- * マッチングシステムの経緯②～アドバイス等調査のまとめ
- * システムへの落とし込み①～⑤
- * マッチングシステムの詳細（画面遷移とその流れ）
- * マッチングシステムのまとめ

■本事業における成果

- * マッチングシステムのロードマップ

■期待される効果

■解決すべき課題

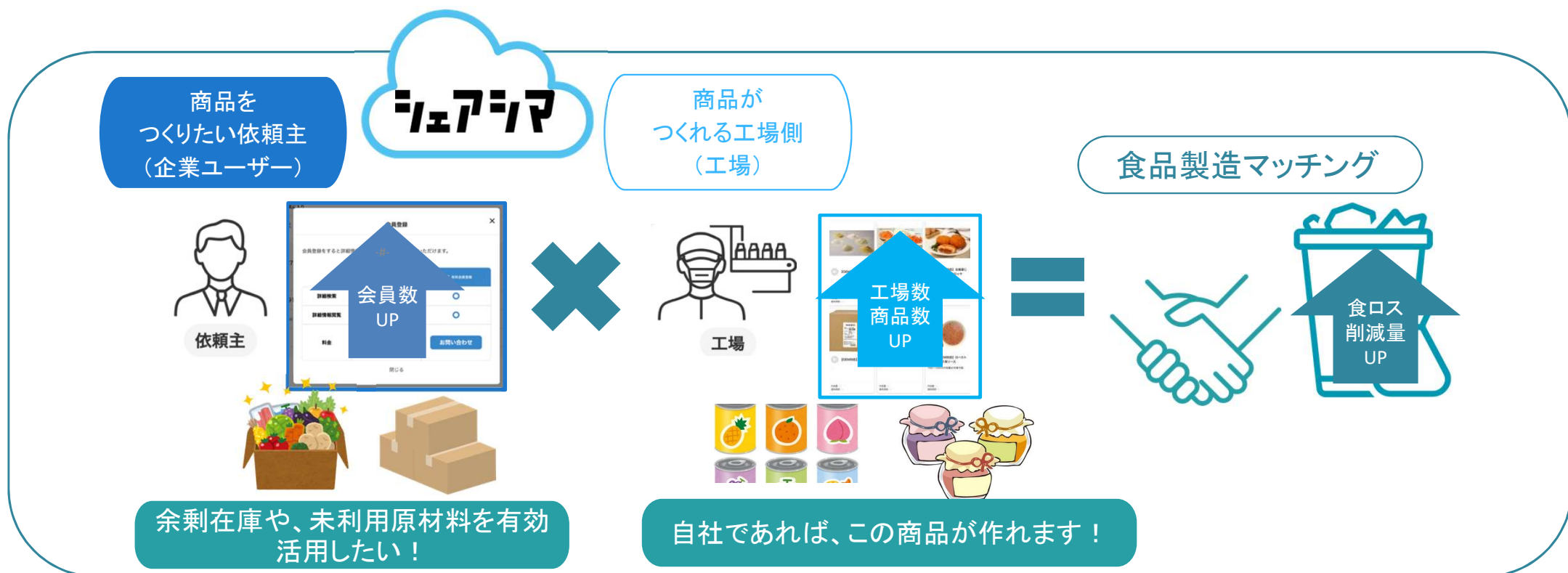
事業内容

本事業では、従来当社が取り組んできた食品原料における食品ロス削減活動に加えて、**新商品を開発したい食品企業と生産設備を保有する食品工場の案件マッチング**を行い、「食品ロスの商品化」支援まで行う食品アップサイクルモデルを構築する。



事業内容

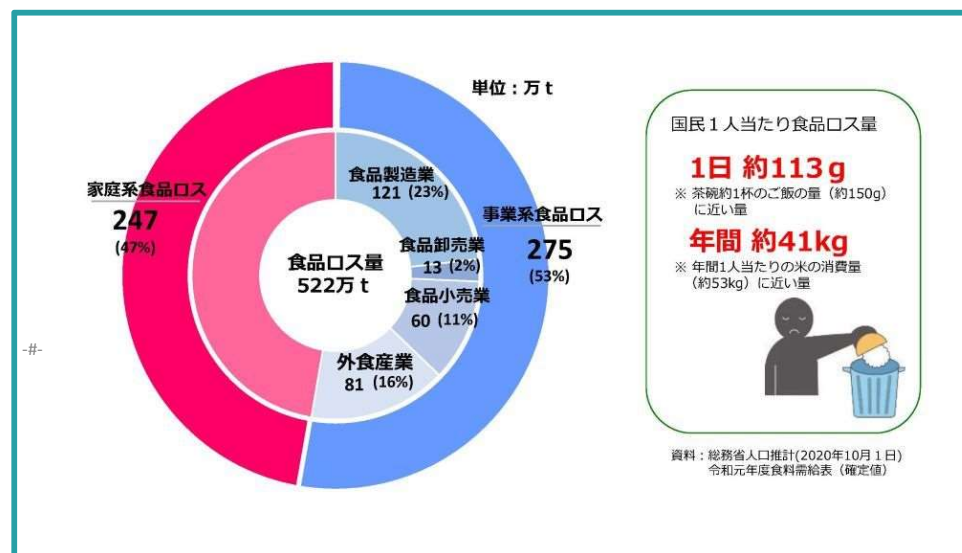
本事業において、未利用や廃棄予定の食品原料をシェアシマで確認後、食品製造委託システム(OEMマッチング)を目的とし、オンラインで「商品を作りたい会社」(以後、企業ユーザー)と「商品が作れる会社」(以後、工場)をマッチングする事で、従来、廃棄するしかなかった食品原料を、アップサイクルを行い食品ロスを削減する。



事業目的

背景として、農林水産省が公開している「食品ロス」資料によると、日本で発生している食品ロス年間522万t(トン)の内、食品製造業及び食品卸売業から発生しているものは25%に及んでいる。しかしながらこの食品製造過程で発生する食品ロスに関して未だに解決する仕組みが確立されていない。

そのため当社では食品ロスを活用した新商品開発から商品化まで一気通貫で支援する本サービスの実証実験を行うことにした。

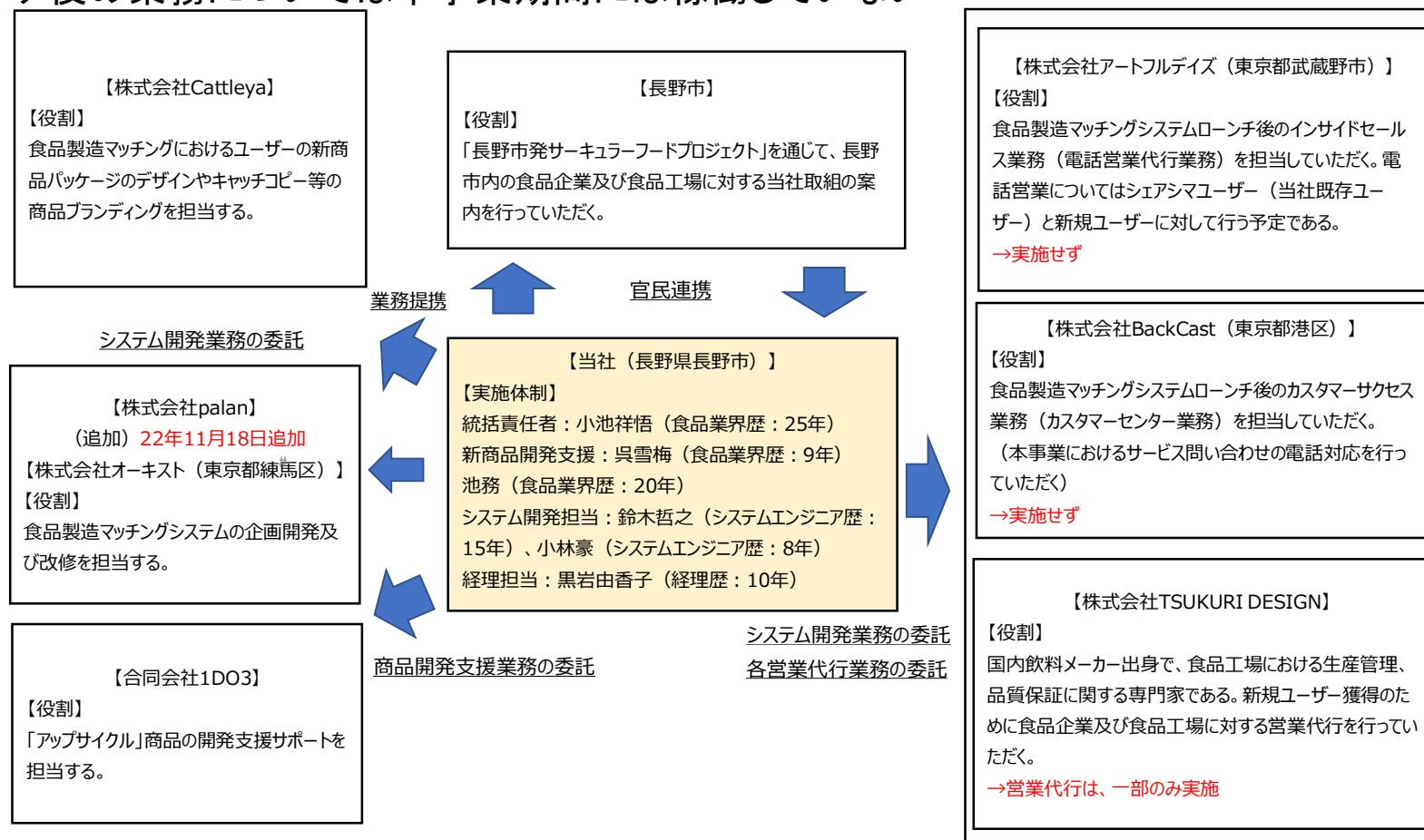


本事業を通じて解決したいこと

本事業では、この食品製造業及び食品卸売業から発生している「事業系食品ロス」の削減を図りたい。事業系食品ロスの削減を図り、その食品ロスの有効活用による国内の食品循環モデルを構築することで「日本の食品自給力を高める」ことに貢献を図りたい。

実施体制

- 当初計画していたシステム会社を変更
- 株式会社Cattleyaの業務内容変更⇒新商品を開発するにあたり、ユーザーヒアリングを実施。
- ローンチ後の業務については本事業期間には稼働していない



役割分担表及び事業の切り分け

- システム構築に入るために仕様及び要件を明確化する際、事業者ヒアリングを実施
- ユーザーおよびシステムとして、必要機能の取捨選択を実施
- 本事業では、実施体制にもある長野市の「サーキュラーフードプロジェクト」を通じて、商品化を行った。そのため、事業切り分けは、以下表のとおりである。

事業項目	内訳詳細	担当	その他関連する業務内容	東京都事業	長野市事業
事業全体マネジメント（①～⑨）	総合運営・進行	ICS-net株式会社(小池)	各ミーティング管理・進行（週1回）	○	
システム構築・マーケティング等専門マネジメント（①～④,⑧⑨）	システム・マーケティング	株式会社TSUKURI DESIGN	①～④全体進行,⑧⑨調整及びサービス営業のアドバイス	○	
①食品製造マッチングシステム要求事項の整理と基本設計の作成	システム構築		⑤システムローンチまでのヒアリングを元に仕様、要件に落とし込みと、画面構成及び画面遷移案作成 ⑥システム構築の進捗管理	○	
②食品製造マッチングシステムの開発	システム全体進行管理				
③食品製造マッチングシステムのシステムテスト	システム基本設計				
④食品製造マッチングシステムローンチ	システム詳細設計	株式会社オーキスト	仕様、要件からのシステム構築管理及び、プログラミング	○	
⑤システムローンチ後のシステム改修	システム構築管理				
⑥シェアシマユーザーに対する事前告知	システム構築・プログラム作成				
⑦新商品開発支援	商品開発コンサルティング	合同会社1D03	新商品開発の缶詰6品の生産場所の選定、及びウエハースの端材からのビールについてのマーケティング補助、商品スケジュール、デザイン案など		○
	ディレクション				
	商品企画				
	商品設計・製造サポート				
⑧商品ブランディング支援	マーケティング・コンサルティング	株式会社Cattleya	④詳細設計に関するヒアリング テレアポ用のターゲットリスト作成及びトークスクリプト作成	○	
⑨サービスローンチ後の営業支援及びカスタマーサポート支援	ディレクション				
	企画立案				
	計画実施				

本事業の実施スケジュール

- 事業採択後、チーム編成を行い要件整理、定義、基本設計を行う
- その後、開発に取り掛かり、11月ローンチを目指した
- また、本システムを稼働させるために、新商品の開発に着手も行う計画とした

取組内容	取組時期	2022年						2023年	
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
①食品製造マッチングシステム要求事項の整理と基本設計の作成	7月中旬～7月下旬								
②食品製造マッチングシステムの開発	8月上旬～10月下旬								
③食品製造マッチングシステムのシステムテスト	9月上旬～2月中旬								
④食品製造マッチングシステムローンチ	11月上旬								
⑤システムローンチ後のシステム改修	11月～1月								
⑥シェアシマユーザーに対する事前告知	10月中旬～								
⑦新商品開発支援（当社）	10月中旬～2月中旬								
⑧商品ブランディング支援	10月中旬～2月中旬								
⑨サービスローンチ後の営業支援及びカスタマーサポート業務	10月中旬～2月中旬								

実施結果

- 当初計画よりも要求事項の整理と基本設計の作成に多大な時間を要した
- そのため、システム開発のスタートに遅れが生じた事で、システムローンチが遅れる結果となり、食品製造業マッチングシステム内における工場登録機能については、実装。それ以外については、自社内において、ハンズオンという形で、企業ユーザーと、工場間の情報伝達や調整等を行っている。
なお、当初予算においては 使い切る形となった。
- システム改修においても、ローンチ後の対応になってはいるが、ここから先(3月以降)は、自社において自費での開発を進めることとした。

取り組み内容	実施時期	2022年						2023年			担当会社
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①食品製造マッチングシステム要求事項の整理と基本設計の作成及び営業戦略策定	7月中旬～10月下旬										cattleya社、TSUKURIDESIGN社、ICS-net(株)
②食品製造マッチングシステムの開発	10月下旬～										TSUKURIDESIGN社、オーキスト社、ICS-net(株)
③食品製造マッチングシステムのシステムテスト	1月～										
④食品製造マッチングシステムローンチ	1月30日							★			
⑤システムローンチ後のシステム改修	1月30日～										オーキスト社、ICS-net(株)
⑥シェアシマユーザーに対する事前告知	3月予定										ICS-net(株)
⑦新商品開発支援	10月～1月										
⑧商品ブランディング支援	10月～1月										実施せず
⑨サービスローンチ後の営業支援及びカスタマーサポート業務	3月以降										ICS-net(株)

マッチングシステム構築の経緯①～利用者のヒアリング調査

cattleya社がヒアリングを担当し、TSUKURIDESIGN社が以下の内容をもとに要件定義を行い、弊社が中心となりシステム実装を実施。尚、ヒアリング内容については、TUKURIDESIGN社からのアドバイスもあり実施。



工場OEMを探したい 企業ユーザー側

年商10億 農業法人
年商2億 フードテック企業
年商200億 食品メーカー
年商500億 "

OEM先について、自社で検索、商談を重ね、**最後に破談になるケースが多い**。そのため、当社が求める品質などを含めて、候補先の選定から、委託までをシェアシマに依頼したい

-#-

どの会社で何が作れるかの一覧表はほしいが、そのリスト及び検索機能だけで、会社としてシェアシマにシステム使用料としては**支払いができない**。

自社において、**廃棄予定の原料を使用した商品開発先**の委託先に関する情報をシェアシマが集めて頂き、最終商品までのコーディネート業務をシェアシマに委託できるのであれば、依頼したい。



OEMの 実績がある工場

年商800億 受託食品加工メーカー
年商20億 受託加工メーカー

過去の経験からも、調べて連絡を頂くのは良いが、当社で何ができるか、何を得意としているのかを理解せず委託依頼が来ることが多く、**対応に困る**

問い合わせをしてくるのであれば、最低限の条件(数量や、作りたいもの、納品場所、保管など)を明確にして頂ければ、受託するかどうかの**判断材料になる**

食品業界を熟知していない方や、委託内容についてシェアシマで精査、対応、調整をし、**スムーズな取引ができるようにシェアシマに依頼したい**

自社情報をオープンな場で公開するには、**漏洩リスクが高い**

マッチングシステム構築の経緯②～アドバイス等調査のまとめ

利用者のヒアリング調査（合計6社）と株式会社TSUKURIDESIGN社（専門家）のアドバイスによりマッチングシステムの構築を行う。

その結果、以下の項目については、当初の想定以外のヒアリング結果が得られたため、それぞれの機能として、踏襲し、マッチングシステムに掲載する事とした。

1. 受託工場側が主体的に登録することはない

2. 企業ユーザー側はコーディネートをした際お金を支払う

3. 一覧表からの検索自体はできるとありがたい

4. カテゴリーで絞ればありがたい

5. メッセージ機能はつけてほしくない

6. 突然の電話対応などもしたくない

7. 自社で余ったもの（未利用原料）は商品化できるようにしたい

反映



システムへの落とし込み①

■ Cattleya社によるマーケティング調査の結果、受託工場側は、本システムに主体的に登録する事はしないという事実が判明したため、問い合わせフォームからの流入にすることで、主体的な事業者を集う事とした。その際に弊社が事業説明、ミーティングを通して、事業理解をした上で、自社情報の開示を行うフローとした

1. 受託工場側が主体的に登録することはしない



1. 問い合わせフォームに必要項目記入
2. 弊社より、概要確認のため、折り返しの連絡
3. 先方に対して事業説明などミーティング、機能説明を実施
4. 案件毎においての設定見積もり合わせの実施

シェアシマ OEM お問い合わせ窓口のスクリーンショット。入力欄は以下の通りです。

- 会社名*
- 部署*
- 姓* 名*
- Eメール*
- お問い合わせ本文*
以下の枠内に問い合わせたい内容をご記載ください。

下部には「上記内容でお問い合わせ」という青いボタンがあります。

システムへの落とし込み②

■TUKURIDESIGN社が主体となり、事業構築を行っていく上で、重要なマネタイズの部分において、企業ユーザーにおいては、商品ができる各プロセス、特に、工場とのマッチングにおいては、会社としても予算計上を行う。とのヒアリング結果となった

2. 企業ユーザー側はコーディネートをした際お金を支払う

「工場OEM商品」の検索結果 19件

キーワードを入力してください

すべての条件を解除

原料の詳細検索

一般食品（加工食品）

選択して下さい

食品添加物

選択して下さい

健康・機能性食品素材

選択して下さい

【OEM対応】カップ充填加工

高性能のカップ充填機を2台、袋充填機1台を完備

内容量：-
賞味期限：-

【OEM対応】野菜ジュース

120Lの微細カットで、素材も得らかに！

内容量：-
賞味期限：-

株式会社しらかわ五葉倶楽部

原料一覧 > 一般食品（加工食品）

【OEM対応】カップ充填加工

高性能のカップ充填機を2台、袋充填機1台を完備

原料情報

販売形態	小売用、業務用、通販用
衛生管理検査有無	なし
最低ロット	500 個
対応容器	カップ容器（18～85g）
希望取引金額	100000円
指定場所納品対応可否	対応可能

企業情報

株式会社しらかわ五葉倶楽部

企業所在地 〒9610013 福島県白河市舟田園地下42

業種カテゴリ 加工食品製造・販売

電話番号 0248-29-8491

ホームページ <https://shirakawa-goyouclub.com/company/>

企業説明

詳細を確認

会員登録

会員登録をすると詳細情報の閲覧などの機能をご利用いただけます。

ベーシック 無料会員登録

プロ 有料会員登録

詳細検索	×	○
詳細情報閲覧	×	○
料金	登録	お問い合わせ

閉じる

④お問い合わせフォームに記載

シェアシマOEMお問い合わせ窓口

会社名*

部署*

氏名*

名*

Eメール*

お問い合わせ本文*

上記内容でお問い合わせ

①【OEM対応】の商品から、ユーザーが詳細をみたい商品をクリック

②その中で、必要最小限の情報は開示

③当社との契約をする事で、「何を」作りたいのか、「場所」はどこが良いかなど、ヒアリングを通して、商品化までをハンズオン伴走を行う

システムへの落とし込み③

3. 一覧表からの検索自体はできるとありがたい

4. カテゴリーで絞ればありがたい

「工場OEM商品」の検索結果 19件

キーワードを入力してください 🔍
すべての条件を解除

原料の詳細検索 ▼

工場OEMの詳細検索 ^

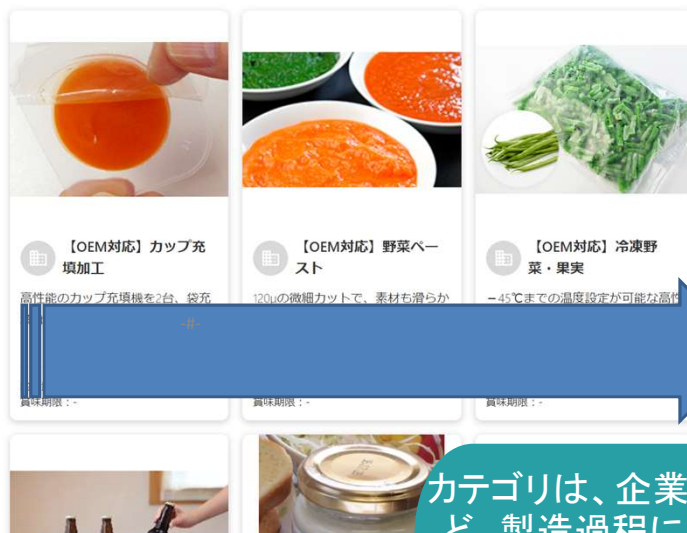
カテゴリ

選択して下さい ▼

都道府県

選択して下さい ▼

検索する



工場OEMの詳細検索の内、今必要とされるカテゴリと地域からの検索が可能

■ Cattleya社のヒアリングを元にしたマーケティング及び、TSUKURIDESIGN社の過去の知見からも、企業ユーザーの欲する機能として、カテゴリー及び都道府県からの検索機能の実装。



カテゴリは、企業ユーザーがどういう商品を作りたいか、最終商品の形状・形態、加工工程など、製造過程におけるOEM先も抽出できるように設計。現在のところ、合計14カテゴリから検索可能とした。
また、企業ユーザーの要望として、出荷先に近い場所を検索したいとの要望があったので、47都道府県を選択する事を可能とした

システムへの落とし込み④

5. メッセージ機能はつけてほしくない

6. 突然の電話対応などほしくない

「工場OEM商品」の検索結果 19件



-#-

メッセージ機能、および、電話など直接の連絡を受け取りたくないという意向に対し、当初予定していたメッセージ機能及び、連絡が取れる手段に関してはどちらの画面でも確認が取れないようにし、会員制にすることで、直接の問い合わせがなくても良いようにした。

（現在、情報はオープン化中）

■cattleya社のヒアリングの結果、工場からの意向として、不確実性の高い案件管理が多く、余計なコンタクトや電話、メッセージやメール対応等の時間を取られたくないという潜在的な意見を聞くことができた。

株式会社しらかわ五葉倶楽部

原料一覧 > 一般食品（加工食品）

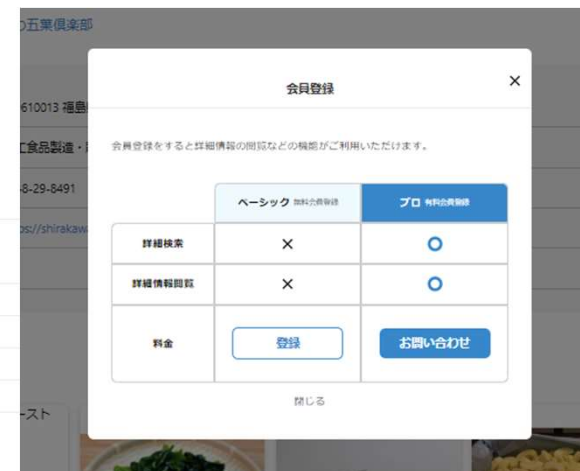


企業情報

株式会社しらかわ五葉倶楽部

企業所在地 〒9610013 福島県白河市舟田築下42
業種カテゴリ 加工食品製造・販売
電話番号 0248-29-8491
ホームページ <https://shirakawa-goyouclub.com/company/>
企業説明

詳細を確認

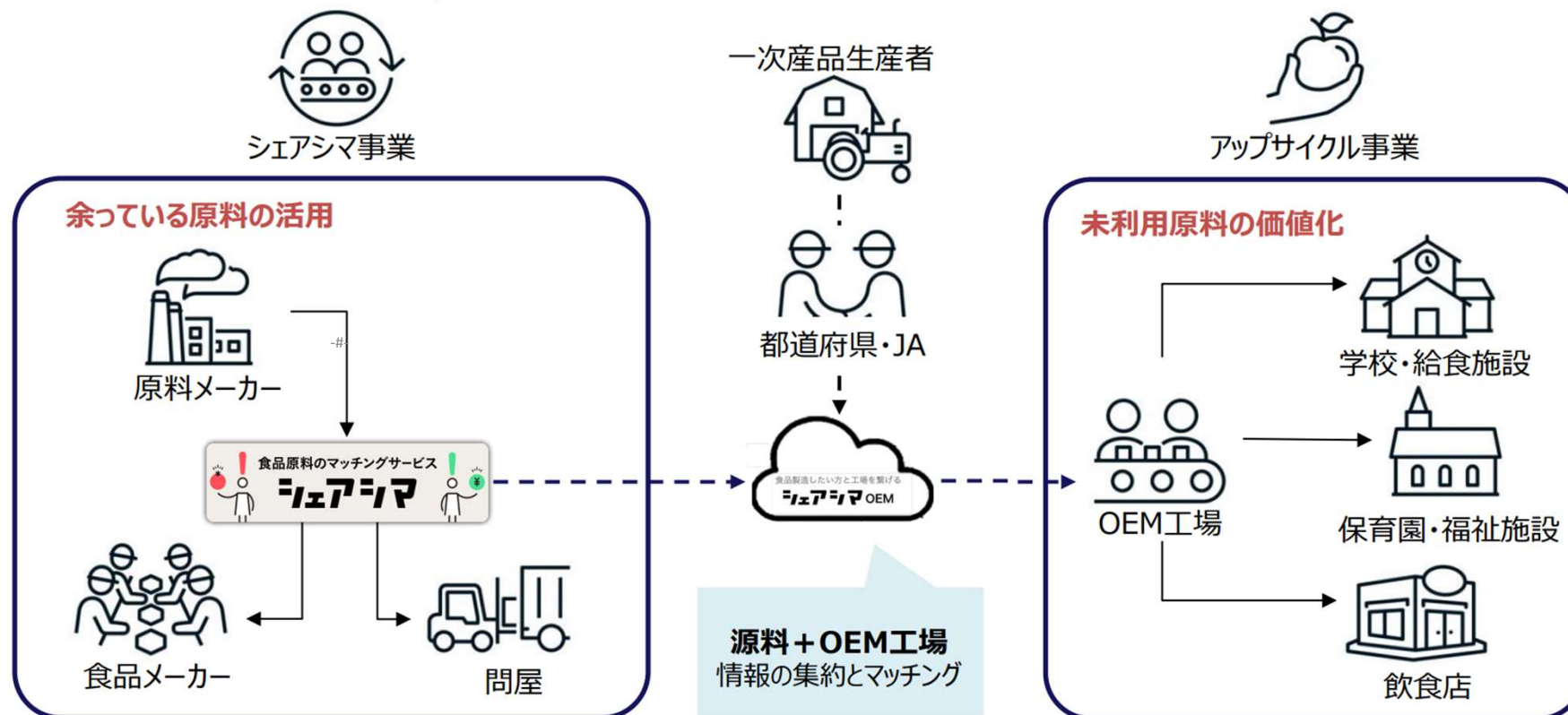


先方との連絡手段については、基本、有料プランとして、ICS-netが間に入り情報の取り扱い、企業ユーザーと工場の不一致を解消する事を目的とする

システムへの落とし込み⑤

7. 自社で余ったもの(未利用原料)は商品化できるようにしたい

cattreya社のヒアリングの結果からも、本事業でのマッチングシステムをベースにして、今後「企業ユーザー側」及び「工場」の会員数を増やし、さらにはそれを理解して購入、販売する各社との協業も視野にいれる。なお、営業戦略及びトークスクリプトは、cattreya社が作成し、1月より営業開始している



マッチングシステムの詳細～画面遷移とその流れ

TUSKURIDESIGN社の要件定義を元に、本システムとしては、こちらの画面遷移及び画面構成まで可能とした

TOP画面



選択

つくりたい依頼主
(企業ユーザー)

or

つくれる工場側



アカウント登録で簡単工場検索

OEM委託先を検索したい方 (無料)

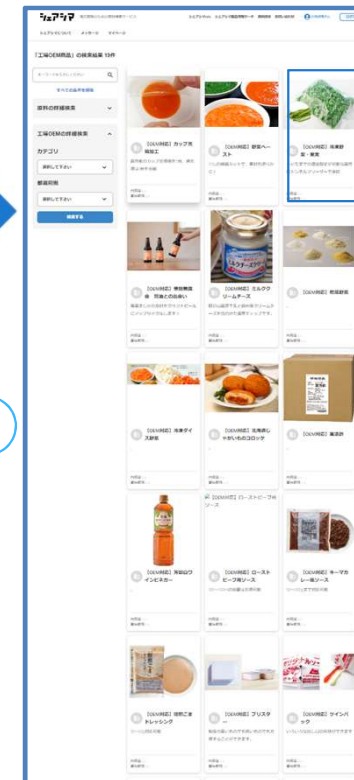
まずは資料請求

受託したい工場の方はこちら

問合せ → 工場登録

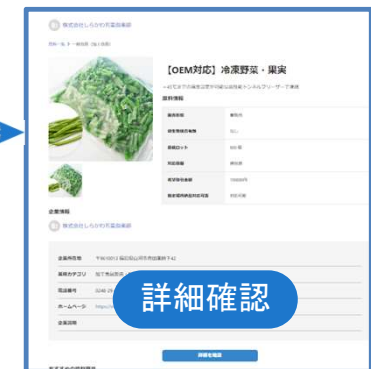
検索一覧

つくりたい工場(商品)を探す



詳細結果

工場(商品)を選択



会員登録 → 取引フェーズ

マッチングシステムのまとめ

本事業では食品ロスを活用した新商品開発を行いたい企業（食品企業）と生産設備を保有する食品工場の案件マッチングを行うために「食品製造マッチングシステム」（以下、本システム）を開発する。本システムでは、案件マッチングを図るために以下①～⑤の機能を開発・実装する予定とした。

結果的に、自社システムである「シェアシマ会員」に広く知ってもらい、使用する事を目的とし、多くのマッチングを推奨する予定でシステム設計をしたことで、システム要件及びシステム開発に遅れが生じてしまった。

- ① 商品開発を行う食品企業の案件概要や生産数量、納期等の情報を登録する案件登録機能
→商品開発を行う食品企業へヒアリングをした結果、案件概要及び生産数量や納期などの詳細情報を明確に記載及びネット上での公開を行いたくないという意見があり、かつ、それを公開するのであれば、本サイトを利用しないとの事で、現段階において、実装していない
- ②食品を製造する食品工場の工場概要や保有設備、過去の生産実績等を登録する工場登録機能
→実装済み
- ③「案件」や「工場」を検索・閲覧できる検索・閲覧機能とお互いに連絡ができるメッセージ機能
→案件や、工場、場所などでの検索・閲覧できる機能は実装。
ヒアリングの結果から、「企業ユーザーからの不確定要素の多い案件がきても困る」という工場の意見があり、そのため、メッセージ機能は付与できていない
- ④商品製造等に係る費用を確認できる見積機能
→ヒアリングした結果、商品製造内容が分からないと見積もりは出せない。とのこと。そのため、1取引に関して、工場が希望する最低金額を明示化する事で、この機能については、補完。
- ⑤ユーザー間の発注及び受注ができる受発注機能など
→商品が完成するまでの各ステータスにおいて、企業ユーザー、工場にそれぞれに時間を含めたロスが多い事が判明。そのため、受発注機能を実装する前に、現在の各社の相談窓口を弊社が一括する事で、解決の糸口につながると判断したため、受発注機能は実装していない。

マッチングシステムのまとめ

■当初の予定と比較し、スケジュール・予算、また利用者である企業ユーザー・工場に関しても、実際のシステム化に至るまで、見込みが甘い結果となった。

そのため、当初の予定にあったシステム内における機能については、引き続き、当社主導において、必要項目の実装を行っていく予定である。

■今回のシステムのメインでもある「工場登録機能」においては、本事業の予算に作成する事ができ、システム側でのデータベース設計から実装まで実現できたことから、製造カテゴリ、製造可能数、最低取引金額などを網羅する事ができたが、システムとして不完全との事で、システム構築費において自社負担とした

■上記内容がシステム上にあることで、今後実装を予定している案件管理や、企業ユーザーと工場の架け橋となりえるメッセージ機能、見積もり等については、弊社内リソースにおいて、自社がハブ的な機能として企業ユーザー側にハンズオンとして既に営業活動を実施している。

■特に問い合わせフォームで、企業ユーザー、工場、それぞれからの問い合わせが可能となっており、それぞれの担当者情報を得ることにより、今回実装予定だった機能を人的リソースでカバーし、今後の開発に向けてシステム化を実装していく予定である。

本事業における成果

本事業の実施事業年度における成果は以下の通り

①成果目標に対する結果

今回、メインである「工場登録機能」は開発ができていたため、他の部分の主な機能は弊社の人的リソース及び問い合わせフォームなどで補完はしている。当初、全面DXの予定ではいたが、前述の通り、見通しの甘い結果になった。

本事業予算でここまで開発ができたことで、弊社としてはここで終わらせることなく、23年3月以降は、自社費用において、システムの改善・開発を行い、より多くの事業者にある食品ロス削減に向けて活動を引き続き行う。

②パートナーシップ会議(2023年2月3日実施)における発表について

当初、本システムを活用して、新商品開発をする予定だったが、結果的に間に合わず、長野市補助事業において、商品化をした缶詰の発表を行う事となった。

③新商品開発に関して

東京都において、原料段階での食品ロスを使つての商品開発の計画だったが、システムローンチが間に合わず結果的に新商品開発はできていない。

④登録工場数及び商品数は以下の通り(cattleya社のトークスクリプトを元に営業開始している)

- ニチノウ食品: 長野県 (工場: 長野県) ...ICS-net(株)
- ディスペンパックジャパン: 東京都 (工場: 山梨県) ...ICS-net(株)
- ケイパック: 茨城県 (工場: 茨城県) ...ICS-net(株)
- キューピー醸造: 東京都 (工場: 茨城県) ...ICS-net(株)
- クレードル食品: 北海道 (工場: 北海道) ...ICS-net(株)
- くるまや: 長野県 (工場: 長野県) ...ICS-net(株)
- Beer the First: 神奈川県 (工場: 千葉県) ...ICS-net(株)
- しらかわ五葉倶楽部: 福島県 (工場: 福島県) ...TSUKURIDESIGN社

○登録工場数 8事業者

○登録商品数 19品 (カテゴリー: 小売用10アイテム、業務用15アイテム、通販用11アイテム)

⑤検索機能

検索機能については、企業ユーザーが検索しやすいように工場の場所にて検索ができるように実装。しかしながら、ユーザーからの意向により手直しが必要。

マッチングシステムのロードマップ

東京都予算

ICS-net(株)予算に計画

取り組み内容	実施	2022年						2023年												2024年											
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月						
商品開発を行う食品企業の案件概要や生産数量、納期等の情報を登録する案件登録機能	2023年6月 実装予定	登録フォームをベースに人的リソースにて実施中						→						実装予定																	
食品を製造する食品工場の工場概要や保有設備、過去の生産実績等を登録する工場登録機能	2023年2月 実装済	→						実装済						本事業において東京都予算にて実装済み																	
「案件」や「工場」を検索・閲覧できる検索・閲覧機能とお互いに連絡ができるメッセージ機能	2023年8月 実装予定	ICS-net(株)がハンズオンで、仲介役を実施中						→						実装予定						今後、機能実装追加などについては、都に共有する											
商品製造等に係る費用を確認できる見積機能	-#- 2023年11月 実装予定	工場からの「最低取引金額」を掲載する事で、現在補完しており、より実現性の高い見積もり機能を検討する						→						実装予定																	
ユーザー間の発注及び受注ができる受発注機能など	2024年1月 実装予定	ICS-net(株)がハブ役として、受発注の仕組みを人的リソースにて行い、実装についても検討を続ける						→						実装予定																	
未利用原料、未利用食材をアップサイクル商品として製造、販売マッチング機能	2024年3月 実装予定	アップサイクル商品の開発・発売を行うためのマッチングを人的リソースも使いながら、システム化に向けて検討を続ける						→						実装予定																	

今後、機能実装追加などについては、都に共有する

期待される効果

本事業の実施事業年度を含む3年度の年度別の成果目標は以下の通りである。

①食品ロス削減量、②新商品開発件数、③食品製造マッチング件数(案件数)の合計3項目における目標を定めた。

①シェアシマで売買された本事業に係る食品原料の重量を集計して計測を行う。

初年度の目標は1.0t(トン)を目標に最終年度となる2025年3月度の削減目標は10.0tとしている。

②案件マッチング後に商品開発が完了した商品数を計測する。初年度は8商品の商品化を目標とし、最終年度には40商品の商品化を目指す。

③食品製造マッチングシステムにおけるマッチング件数(成約できた案件数)を目標としており、

初年度の目標は4件、最終年度の目標は20件と定めた。

※各成果目標については全て定量的に定めており、当社が商品開発支援などを通じてユーザー企業と継続的な関係を築くことでモニタリング可能な項目となっている。

成果目標項目		単位	年度			計測・確認方法
			2023年3月	2024年3月	2025年3月	
①	食品ロス削減量	t (トン)	1.0	5.0	10.0	シェアシマで売買された本事業に係る食品原料量を集計して計測する。
2022年度実績 350kgの削減(レバー・ハツ300kg、ウエハース50kg)						
②	新商品開発件数	商品	8	30	40	案件マッチング後に開発された商品件数を確認して計測する。
2022年度実績 缶詰6缶、ビール2商品、合計8商品の商品化						
③	食品製造マッチング件数 (案件数)	件	4	15	20	各年度内に食品製造マッチングシステムで成約できた案件数を集計する。
2022年度実績 缶詰、ビールにて2件のマッチング件数						

解決すべき課題

1. 各工場における余剰となる食品原料や、滞留している原料在庫を、各事業者が公表できるような土壌作りが必要であり、それに伴うブランド棄損にならないような仕組み作りと消費者への理解及び認知を広めていく
2. 本事業にて実装できなかった各機能において、翌年度以降の実施に向けてユーザーヒアリングを行い、業務をシステム化する事で、効率的かつ食品ロス削減につながるシステム化を目指す
3. 本事業を通して、本システムを使用する企業ユーザーおよび工場的大幅な拡大をする事で、より多くのマッチング件数を実現させ、原料段階での廃棄しか選択がなかった食品原料を中心に、商品開発と販売を行う
4. 東京都内における食品事業者への周知と認知拡大
5. 本システムを活用したアップサイクル商品の開発と、それを販売する事による都民への認知
6. システムローンチ後、弊社として活動はできており、工場検索機能・工場登録などハンズオンで各事業者の支援を行っているが、今後、自らシステムを改善・改良を進め、東京都に共有する